



都電荒川線(荒川区役所前)



都立汐入公園



荒川自然公園

区議会第2回定例会

一般会計補正予算など
議案22件を可決

区議会第2回定例会は、6月22日から7月4日までの13日間の会期で開かれました。

本会議の1日目と2日目には、5人の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました(要旨は2・3面に掲載しています)。

本定例会では、議員から提出された議案1件、意見書4件と区長から提出された議案17件が可決されました(議案の審議結果は4面に掲載しています)。

第2回定例会日程

- 6月22日 本会議
- 6月23日 本会議
- 6月24日 総務企画委員会
福祉・区民生活委員会
- 6月28日 文教・子育て支援委員会
建設環境委員会
- 7月1日 議会運営委員会
- 7月4日 本会議

掲載記事のご案内



あら坊

区政のこころをきく

一般質問要旨

鳥飼秀夫 議員(自民党)
萩野 勝 議員(公明党)
横山幸次 議員(共産党)
瀬野喜代 議員(民主・市民)
齊藤裕子 議員(元気クラブ)
意見書提出

『さらなる議会改革の方策』
の継続調査について」諮問

全国市議会議長会における
議員表彰

声の区議会だより

議案の審議結果

議席図

4面

3面・2面

区政の「目玉」をきく！ 一般質問 要旨

「東日本大震災」後の区の方針と子育て支援の諸課題について



鳥飼 秀夫
(自民党)

「東日本大震災」後の区の方針について

問 今回の震災で災害時において、自分のことは自分で守るという自助、町会・自治会など地域における共助の役割分担の大切さを認識した。このことを踏まえ今後の防災計画の見直しに当たり区の認識を問う。

答 今回の震災で災害時における町会・自治会をはじめとする自助・共助の重要性が認識された。現在進めている新たな地域防災計画の策定においても自助・共助による地域防災力のさらなる向上について重要な取り組みの一つとして充実を図っていく。

問 従来の内容に加え、イラストなどを使い、いつでもどこでも使える、簡単に分かりやすい住民・町会用の災害マニュアルについて作成が必要と考えるがどうか。

答 区では災害時の避難のあり方、火災予防や初期消火、応急救護の方法等をまとめた家庭用防災マニュアルを作成しているが、帰宅困難者の対応や高層階居住者への支援、避難所運営など新たな視

点も加味したマニュアルの発行に向け早期に取り組んでいく。

問 汐入公園は他地区の広域避難場所として指定されていると同時に防災船着場が整備されている。これを災害時における速やかな避難手段、物資輸送手段として活用できるよう、平時から観光などに活用すべきと考えるがどうか。

答 防災船着場を災害時の避難経路や緊急物資の輸送手段として迅速かつ効果的に活用するために、平時から訓練やイベント等を使用し、存在を認知してもらうことが重要と考える。都と協力しながら積極的に事業展開を図っていく。

問 子育て支援の諸課題について

答 保育施設の利用を希望している人が増えている中、保育実施基準指数が20以上である保護者については、認可保育所で受け入れることを目標とし、さらに認証保育所や保育ママも有効に活用し、待機児童の解消を図っていくべきと考えるが区の見解を問う。

千住と東日暮里に認可保育所を整備し、増大する保育需要に対応していくが、認可保育所のみで対応することは困難であると考えており、認証保育所や保育ママも活用し、待機児童ゼロを実現していく。

問 3年間にわたって運営してきた汐入子ども園についてどのように評価するのか。また、今後、同様の幼保一体化施設の導入については慎重に検討すべきと考えるがどうか。

答 汐入子ども園については、幼稚園、保育園それぞれの需要に対応するという所期の目的は果たしていること認識している。また、今後の幼保一体化施設の導入については、それぞれの需要や、汐入子ども園の運営状況などを踏まえ、慎重に検討していく。

- 西川区長特別区長会長就任にあたって
- 教育の諸課題について
- 交通網整備の諸課題について
- 荒川区高齢者プラン策定の諸課題について
- 原発事故後の環境対策について



区の防災・震災対策と安全・安心・豊かな街づくりについて



萩野 勝
(公明党)

区の防災・震災対策について

問 区民の生命や財産の被害を減らすために、迅速・的確な情報の伝達手段をはじめ、日頃の防災教育など、東日本大震災を踏まえた教訓と区のリスクに対する取り組みを問う。

答 今後予想される南関東の直下型地震に対し、火災の予防を最重点に考え、燃えないまちを作っていく。そのために火災予防と初期消火の徹底、延焼拡大防止に重点を置いた対策を進める。

問 今回の震災時における区の初動対応などを踏まえ、その教訓をもとにした現行の荒川区地域防災計画の内容を大幅に、かつ、早期に見直すべきと考えるがどうか。

答 被害を可能な限り少なくするために過去の教訓や被害想定を踏まえた対策の充実が必要である。専門家の意向もよく承りながら防災計画の見直しについて検証・策定していく。

速やかに「被災者支援システム」を導入すべきと考えるがどうか。

答 「被災者支援システム」は、実際の災害対策業務でその有効性が確認され、全国の自治体に無償で公開・提供されているシステムであり、区として早期導入に向け、検討を進めていく。

問 適正管理されていない空地・空地・空家の管理・活用等の取り組みとして、(仮称)空地・空家適正管理条例を策定すべきと考えるが、見解を問う。

答 適正に管理されていない空地については「荒川区良好な生活環境の確保に関する条例」などにより指導している。空家については、現行の建築基準法などとの関係も踏まえ関係部署とも連携し、積極的に取り組んでいく。

問 「住」の安全・安心確保のため、子育て世帯や障がい者・高齢者世帯などが民間賃貸住宅に円滑に入居できるよう支援を行う、住宅セーフティネット法に規定された「居住支援協議会」を設置すべきと考えるがどうか。

答 今後、高齢者福祉や子育て支援など関係部署をはじめ、宅地建物取引業協会荒川支部など関係団体と連携し、協議会の設置に向けて鋭意検討していく。



意見書提出

本定例会では4件を可決し、関係機関に提出しました。

当面の電力需要対策に関する意見書

(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・経済産業大臣・内閣官房長官・国家戦略担当大臣あて)

震災からの復興に向けた補正予算の早期実現を求める意見書

(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・内閣官房長官・内閣府特命担当大臣(経済財政政策)・国家戦略担当大臣あて)

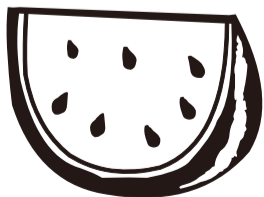
東日本大震災の復興支援と総合的な復興ビジョン策定を求める意見書

(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・東日本大震災復興対策担当大臣・内閣官房長官あて)

公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書

(内閣総理大臣・総務大臣・文部科学大臣・国土交通大臣・東日本大震災復興対策担当大臣あて)

- 区政運営について
- 交通安全対策について



原発ゼロに向け「地域・自然エネルギーのまち：荒川区」めざして、福祉・防災最優先の区政について



横山 幸次
(共産党)

原発ゼロに向け「地域・自然エネルギーのまち：荒川区」めざして

原発ゼロに向け「地域・自然エネルギーのまち：荒川区」を

目指す立場を明らかにし、区民の協力を得ながら民間住宅に太陽光発電を普及させ、公共施設などの電力を100%自前の自然エネルギーで充足させるなど地域システムの構築を目指す。

答 自然エネルギーの導入については、「荒川区低炭素地域づくり

計画」に基づき、地域全体で推進していく。民間住宅の太陽光発電の普及については、国や都の動向も注視しながら検討する。

問 区施設、他の公的機関、民間事業者関係施設などに太陽光発電システムの導入を働きかけるとともに、建設予定施設にも自然エネルギーの導入などを求める。

答 区施設では、すでに自然エネルギーの導入を進めており、今後の建設予定の施設についても、計画段階から導入を図っていく。

問 公園・児童遊園、保育園・幼稚園・学校をはじめ区内各所の放射線測定を行い公表するとともに、被曝についての正確な情報を提供すること。

答 放射線量の測定にあたっては、正確な値となるよう測定の技術・知識等が備わっている専門機関が行う必要がある。都に対し、現在の測定を継続的に実施し、統一的に発表するよう求めていく。

福祉・防災最優先の区政について

問 区の初動体制や学校、保育園などの子どもの安全確保など緊急に検証を行い、直ちに改善するとともに、地域防災計画の抜本的見直しを早急に行うこと。

答 児童・生徒の安全確保に最大の対応に努めた。首都直下地震に備え応急対策活動について検証作業に鋭意取り組んでいく。

問 大地震発生後の区内の介護、医療、福祉関係機関などの災害時要援護者への対応を検証して、今後の支援体制や「福祉のネットワーク」づくりに生かすこと。

答 震災時の迅速な対応を今後にかすため、検証を始めていくとともに、みまもりネットワーク事業などで高齢者の見守り体制の充実、強化を図っていく。

問 認可保育所の増設で待機児童ゼロを目指すとともに、節電に伴う企業の勤務時間変更などに伴い、休日保育、ゼロ歳児延長保育を検討・実施すること。

答 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 東日本大震災の救援、復興のために

問 中小企業への支援について

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

問 認可保育所を整備するとともに、認証保育所や保育ママを活用し、待機児童ゼロを目指す。休日保育などについては、必要な保護者の把握に努め検討していく。

東日本大震災・福島原発事故をふまえて、荒川区はどのように政策を変更するのか。



斉藤 裕子
(元気クラブ)

災害弱者である子ども、高齢者、障害者への安全対策充実を。

問 独自の放射線測定をかたくなに拒む荒川区の態度では、区民は「幸福を実感」できない。大丈夫かどうかを決めるのは行政ではなく区民だ。測定と公表、情報提供を徹底的に行って、区民の信頼を得るべきと考えるがどうか。

答 放射線量の測定は、技術・知識が必要であり、都に対し現在の測定を継続的に実施し、統一的に発表するよう求めていく。

問 食物アレルギーを持つ子どもたちへの災害時の支援が必要だ。

答 このたびの震災で災害時の人的支援の重要性を再認識した。今後、みまもりネットワーク事業の再編、充実を図り、高齢者や障害者

荒川区議会では、これまで継続して議会改革に取り組み、平成21年11月、「さらなる議会改革の方策」について、議長より議会運営委員会に諮問し、調査を行ってき

ました。平成23年6月20日、服部敏夫議長は、議会運営委員会に対し、時代の大きな変化の中で区民の付託に応え、議会の権能を発揮し、職責を果たしていくためには、引き続き調査することが求められ

るとして、「さらなる議会改革の方策」の継続調査について諮問を行いました。

(写真右から保坂正仁副議長、服部敏夫議長、志村博司議会運営委員会委員長、中村尚郎副委員長)

「さらなる議会改革の方策」の継続調査について「議会運営委員会に諮問



詳細については、現在作成中の会議録がほしい、区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。また、荒川区議会ホームページ(http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/)で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。

者の支援体制を強化していく。荒川二丁目複合施設の計画変更を。

問 大震災の影響は都や区の財政にも及び、区民も土地購入や施設建設に厳しい目を向けている。国土交通省の通達「被災地工事への優先対応、公共工事等の中止について」をどう受け止めているか。

答 今後も行政需要と財政状況などのバランスを図り、公共施設整備を進める。国の指針については適切に受け止め、対処していく。

問 吉村昭文学館は生誕地・日暮里の再開発ビルに観光案内と共に置けば地域文化の面からも望ましい。廃園した峡田幼稚園に代わる幼稚園との複合施設に変更せよ。

答 老朽化し、法的に現在地建て替えが困難な荒川図書館は早急に整備が必要。文学館、子ども施設との複合施設は単独で出来ない事業展開が可能で、必要性は高い。

問 安全な荒川区へ、街づくり政策の検証と見直しを。

答 原子力に依存したエネルギー政策に対する区長の考えを問う。

詳細については、現在作成中の会議録がほしい、区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。また、荒川区議会ホームページ(http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/)で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。

あわせてご利用ください。

平成23年荒川区議会第3回定例会は9月中旬に開会する予定です。

あわせてご利用ください。

あわせてご利用ください。

あわせてご利用ください。

あわせてご利用ください。

あわせてご利用ください。

防災計画の見直しと若者の就労・自立支援について



瀬野 喜代
(民主・市民)

防災計画の見直しについて

問 防災計画の見直しについて、女性や災害弱者の参加を保障し、研究者や専門家、ボランティアの参加を求めるべきと考えるが見解を問う。また、区と区民が協働で防災を見直すという観点から、区民から体験談や防災に関する提案

を募集してはどうか。

答 計画の見直しにあたっては、荒川区防災会議において、防災関係機関の方々の意見を参考に幅広い観点から見直し内容を検討するほか、より多角的な側面から課題の洗い直しが行えるよう区民をはじめ、様々な分野で活動している

方々に意見を求めている。荒川区の地理・歴史を踏まえた水害・地震による液化化対策を行う必要があると思うが、区の見解を問う。

答 水害については、洪水ハザードマップの想定を踏まえ、災害時の区民の避難場所を指定する「災害時地域貢献建築物認定制度」を導入する。地震による液化化については、課題の分析や対応策の検討を行っていききたい。

若者の就労・自立支援について

問 正社員への就労を支援するなど、若者が経済的・精神的に自立できるよう、各部署が連携して取り組む必要があると考えるが、区の見解を問う。

答 正社員を目指す若者向けの就職プログラムについては経費面など検討が必要と考える。ニートな

どを就労支援する必要性は認識しており、関係部署と連携しながら調査・研究していく。

問 若者の孤立、貧困が高校進学や中退に影響している。答弁は求めないが、実態把握や支援を行うべき。また、小中学校においては、助け合う学習態度を評価する「学び合いの授業」を推進することが必要と考えるが見解を問う。

答 小中学校においては、相互に学び合う活動として、自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、思いやりの心を醸成する教育を推進している。

その他の質問項目

○アレギーについて

○ユニバーサルデザインのまちづくりについて

全国市議会議長会における議員表彰

6月15日に開催された全国市議会議長会定期総会において、次の5人が表彰されました。

30年在職議員

志村 博司 議員

20年在職議員

服部 敏夫 議員
並木 一元 議員
齊藤 泰紀 議員
菅谷 安男 前議員

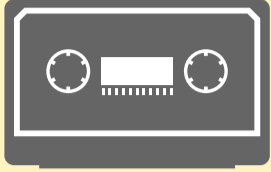
声の区議会だよりをご利用ください

荒川区議会では、議会の活動状況を「区議会だより」でお知らせしていますが、目の不自由な方に、議会の活動状況を知っていただくため、「声の区議会だより」を発行しています。

「声の区議会だより」は、「あらかわ区議会だより」の内容をテープに吹き込み、貸し出しするものです。

ご家庭や、お知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局にご連絡ください。

内線 3616



議案の審議結果

平成 23 年第 2 回定例会

○ 賛成 × 反対 - 退席
太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人員)							結果
	自由民主党荒川区議会議員団	公明党荒川区議会議員団	日本共産党荒川区議会議員団	民主党・市民の会	あらかわ元気クラブ	日本創新党	あらかわ正論の会	
議員提出議案(5件)								
第11号 東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙における候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第12号 当面の電力需要対策に関する意見書提出について	○	○	○	×	-	○	○	可決
第13号 震災からの復興に向けた補正予算の早期実現を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第14号 東日本大震災の復興支援と総合的な復興ビジョン策定を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第15号 公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	可決
区長提出議案(17件)								
第31号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第32号 荒川区立保育所条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第33号 荒川区特別区税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第34号 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第35号 平成23年度荒川区一般会計補正予算(第1回)修正案	×	×	○	×	×	×	×	否決
平成23年度荒川区一般会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	可決

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人員)							結果
	自由民主党荒川区議会議員団	公明党荒川区議会議員団	日本共産党荒川区議会議員団	民主党・市民の会	あらかわ元気クラブ	日本創新党	あらかわ正論の会	
第36号 尾久八幡中学校電気設備工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	可決
第37号 尾久八幡中学校空調設備工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	可決
第38号 尾久八幡中学校給排水衛生設備工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	可決
第39号 (仮称) 東日暮里三丁目ふれあい館及び保育園建築工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	可決
第40号 (仮称) 東日暮里三丁目ふれあい館及び保育園電気設備工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	可決
第41号 普通財産の貸付けについて	○	○	○	○	○	○	○	可決
第42号 包括外部監査契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第43号 町区域の変更について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第44号 特別区道荒 83 号線の路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第45号 特別区道荒 314 号線の路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
同意 第3号 荒川区教育委員会委員の任命同意について(青山侑氏)	○	○	○	○	○	○	×	同意
同意 第4号 荒川区教育委員会委員の任命同意について(高野照夫氏)	○	○	○	○	○	○	×	同意

本会議場 議席図 (平成 23 年 5 月 27 日現在)

事務局書記				会計管理部長	事務局長	議長	区民生活部長	福祉部長	健康部長	健康担当部長	総務企画課長	財政課長
土木部長	都市整備部長	環境清掃部長	子育て支援部長	教育政策担当部長			総務企画部長	管理部長	人事戦略担当部長	産業経済部長	産業政策担当部長	
代表監査委員	選挙管理委員長	教育部長	教育長	演壇				区長	副区長	副区長		
				速記者								
23 浅川喜文		22 齊藤裕子					2 小坂英二		1 藤澤志光			
26 瀬野喜代	25 清水啓史	24 竹内明浩	10 明戸真弓美	9 菅谷元昭					4 安部キヨ子	3 小林行男		
29 吉田詠子	28 松田智子	27 菊地秀信	13 竹内捷美	12 若林清子	11 茂木 弘					6 齊藤邦子	5 横山幸次	
32 萩野 勝	31 中村尚郎	30 保坂正仁	17 齊藤泰紀	16 並木一元	15 服部敏夫	14 小坂眞三					8 小島和男	7 相馬堅一
			21 志村博司	20 鳥飼秀夫	19 守屋 誠	18 北城貞治						

傍聴席(80席) 車いす 2 席

〔凡例〕

自由民主党 荒川区議会議員団	公明党 荒川区議会議員団	日本共産党 荒川区議会議員団	民主党・市民の会	あらかわ 元気クラブ	日本創新党	あらかわ正論の会	荒川区改革の会
-------------------	-----------------	-------------------	----------	---------------	-------	----------	---------